

# 向日葵

ひ ま わ り

第32号

令和3年8月10日発行

発行所  
三条市農業委員会



(下田地区大沢集落のナルコラン圃場)

## 就任のあいさつ

三条市農業委員会 会長

野崎 文夫



5月6日開催の農業委員会初総会におきまして、引き続き会長という大役を拝命いたしました。三条市の農業発展のため、努力していく所存でございます。

我が国の農業は、農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地や耕作放棄地の拡大等、様々な課題を抱えております。このような状況下において、農業委員会では農業委員と農地利用最適化推進委員が一体となり、農地等の利用最適化推進を図るため、担い手の確保や農地の利用集積・集約化、遊休農地等の発生防止・解消の取組体制の強化など、対応に当たってまいります。

三条市では農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期満了に伴い、5月1日から新体制へ移行し、農業委員19名、農地利用最適化推進委員18名で農業委員会業務に取り組んでおります。新型コロナウイルス感染症の影響により外食産業の需要が減少し、米価は下落傾向にある中、農業経営はますます厳しい状況となっております。また、新たな担い手の確保に向け、新規就農者や法人の参入を促進するため、農地の取得条件である下限面積の見直しも、早急に取り組むべき課題と考えております。私ども農業委員と農地利用最適化推進委員は、農業者の信頼と期待に応え、経営の合理化や農業所得の拡大等に努めてまいります。今後も皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

# 栄地区



## 農業委員

くわばら いちろう 榎原 一郎 (猪子場新田)	さとう ひでき 佐藤 秀樹 (泉新田)	おかざき よういち 岡崎 洋一 (前谷内)	しまかげ まさゆき 島影 正幸 (北湯)	みつ もろみち お 三師 満夫 (善久寺)	たなべ あつこ 田邊 敦子 (帯織)

## 農地利用最適化推進委員

おおぐち のぶあき 大口 伸昭 (栄荻島)	こいけ しゅういち 小池 秀一 (茅原)	たかやま ひろのり 高山 弘則 (新堀)	まつおか たくいち 松岡 博一 (鬼木)	よしだ せいいち 吉田 精一 (小古瀬)

# 下田地区



## 農業委員

やまや かずのり 山屋 和徳 (長沢)	くまぐら 睦 熊倉 睦 (新屋)	さか井 ひろゆき 坂井 浩行 (名下)	さとう かずとみ 佐藤 一富 (楢山)	さとう ひろお 佐藤 裕雄 (荒沢)

## 農地利用最適化推進委員

がわ ざわ としつぐ 蒲澤 利嗣 (江口)	ささおか だいすけ 笹岡 大介 (駒込)	はせがわ じょうじ 長谷川 浄二 (飯田)	はら だこういち 原田 孝一 (牛野尾)	やま たに ひであき 山谷 秀昭 (下大浦)	よしだ のぼる 吉田 昇 (森町)

# 農業委員・農地利用最適化推進委員の紹介

会 長 野 崎 文 夫 郎	第2調査部会 部 会 長 佐 藤 裕 雄 作	三条市農業者年金加入推進部 部 長 小 林 茂 宏
会 長 代 理 榎 原 一 郎	部 会 長 代 理 清 野 秀 作	副 部 長 岡 崎 洋 一
農政対策部会 部 会 長 熊 倉 睦 幸 子	第3調査部会 部 会 長 田 邊 稔 夫	副 部 長 吉 井 上 口 利 伸 浄
部 会 長 代 理 田 邊 幸 敦	部 会 長 代 理 田 三 満 幸 子	副 部 長 大 谷 川 正 良 一
第1調査部会 部 会 長 佐 藤 秀 樹 富	農業委員会だより編集委員会 委 員 長 島 馬 影 場 幸 子	副 委 員 長 高 馬 佐 藤 正 良 一

※ ( ) 内は住所

## 農業委員

やまぐら ひろし 山倉 広 (月岡4丁目)	ばばりょうこ 馬場 良子 (西大崎3丁目)

# 三条地区



たなべ のぶ 田邊 稔 (井栗1丁目)	まげ ゆき のぶ 捧 幸伸 (下坂井)	のざき ふみ お 野崎 文夫 (林町2丁目)	せい のしゅう さく 清野 秀作 (塚野目5丁目)	こばやし 茂宏 小林 茂宏 (上須頃)	ひろかわ てつや 廣川 哲也 (金子新田)

## 農地利用最適化推進委員

いづか えいみち 飯塚 栄三千 (東本成寺)	いのうえ としみ 井上 利弥 (北四日町)	きたざわ まさゆき 北澤 正之 (鶴田3丁目)	ひろかわ ひさいち 廣川 久一 (長嶺)

まつした まさき 松下 正樹 (代官島)	やしろ せいいち 矢代 誠一 (須戸新田)	わたなべ ひでと 渡辺 秀人 (柳沢)



# 令和3年度 三条市農業委員会事業計画 (概要)

## I 基本方針

農業・農村を取り巻く情勢は、人口減少・超高齢化社会の進展、集落機能や地域経済力の減退、担い手不足・耕作放棄地の増加による農業生産基盤の縮小など、依然として厳しい状況となっている。

三条市農業委員会は、農業委員と農地利用最適化推進委員が関係団体と連携し、農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図り、農業者の信頼と期待に応えていくことを基本方針として活動する。

## II 事業計画

### 1 会議関係

- 定例総会
- 臨時総会
- 調査部会
- 農政対策部会
- 特別調査部会
- 作況調査検討会
- 和解の仲介委員会

### 2 研修会・講演会の開催

- 農政・消費問題等の講演会を開催

### (2) 委員研修会の実施

### 3 視察研修関係

- 農業委員及び農地最適化推進委員研修
- 1日研修

### 4 的確な農地行政と構造政策の推進

- 農地の権利移動案件の意見決定に当たっての慎重審査
- 農地転用案件の意見決定に当たっての慎重審査
- 無断転用防止と遊休農地(耕作放棄地)防止・解消に向けた活動
- 農地政策見直しに対して、農地制度の根幹の維持を

### 5 農政対策の推進

求める活動

- 農業者の立場に立った建議、意見公表、要望活動の実施
- 農林関係予算の確保対策担い手(法人)確保・育成に向けた取組
- 環境にやさしい農業と安全・安心な農業の振興
- 地産地消活動及び食農教育の推進
- 農産物の付加価値向上に関する取組

### 6 農地銀行活動事業の充実

経営規模拡大を志向する意欲ある農業者支援として、農地銀行活動事業をより一層充実する。

### 7 啓発活動の充実

農業委員会日より「向日葵」編集強化など啓発活動の充実に努める。

### 8 農業者年金業務の推進

農業者年金業務を適正かつ

### 9 「全国農業新聞」等の普及拡大

- 円滑に推進するため、加入推進部長を中心として、次の事業を行う。
- 新農業者年金制度の普及と定着
  - 新農業者年金加入者の拡大及び目標の達成
  - 年金相談活動の充実
  - 新規受給者を対象とした研修会の開催
- 「全国農業新聞」及び「全国農業図書」の普及拡大に努め、農業者へ情報提供活動を推進する。



## 第二調査部会長に就任して

第一調査部会長  
佐藤 秀樹

農業委員に推薦されて一期目が終わり、二期目を務めることとなりました。

最初は、自分が農業委員を務めることができるだろうかと不安でした。農事組合法人尾崎泉地区生産組合の構成員である私が農業委員に就任した、ということでも春の組合作業時に他の構成員から農地について色々相談を受けるようになりました。農業者にとっては、近くに農業委員や農地利用最適化推進委員が近くにいると、話しかけやすいかもしれません。

また、農地の売買等あつせんについて自分では何もわからなかったので、農業委員会事務局に足を運び説明を受け、実際に携わることですし少しずつ分かってきました。地域の方々から農業委員として育てていただいたように思い感謝いたしております。

これからも諸先輩方や事務局から御指導をいただき、地域の方々のお役に立てるよう頑張つてまいります。

## 農業委員・農地利用最適化推進委員の担当区域表

### (三条地区)

担当委員	住所	担当区域
野崎 文夫(農)	林町2丁目	荒町・石上・栗林1・栗林2・上田島・東三条・北中・興野・一ノ木戸・裏館・新光・嘉坪川
井上 利弥(推)	北四日町	島田・西本成寺1~西本成寺3・四日町・東新保・曲淵・北新保・南新保・直江町
清野 秀作(農)	塚野目5丁目	塚野目1~塚野目8
矢代 誠一(推)	須戸新田	須戸・柳場・柳川1~柳川4・三貫地
北澤 正之(推)	鶴田3丁目	鶴田1~鶴田3・下谷地・敦田
田邊 稔(農)	井栗1丁目	井栗西部1~井栗西部4・井栗中部1~井栗中部3・井栗東部1~井栗東部3・西湯・牛ヶ島・三柳・北野・白山
飯塚栄三千(推)	東本成寺	東本成寺・土場・西中・五明・下新田・片口・新保・枝郷・緑ヶ丘
山倉 広(農)	月岡4丁目	如法寺・月岡・諏訪
廣川 久一(推)	長嶺	西鱈田・吉田・長嶺
廣川 哲也(農)	金子新田	東鱈田・金子・袋・南入蔵・入蔵
棒 幸伸(農)	下坂井	東明寺・中東・田中・合屋・上野原・三竹・下坂井・北入蔵・麻布・籠場・中新・漆島・西大崎
馬場 良子(農)	西大崎3丁目	
渡辺 秀人(推)	柳沢	向ヒ村・高田・成沢道上面・布施谷・布施和田・二ツ山・本所・中村・中央・赤坂宮ノ浦
小林 茂宏(農)	上須頃	上須頃上・上須頃東・上須頃中・上須頃下・下須頃上・下須頃下
松下 正樹(推)	代官島	大島1~大島3・荻島上・荻島下・代官島上・代官島中・代官島下・井戸場

### (栄地区)

担当委員	住所	担当区域
吉田 精一(推)	小古瀬	小古瀬・中島・千把野新田
三師 満夫(農)	善久寺	善久寺・芦山・渡前・中曾根新田
松岡 博一(推)	鬼木	鬼木新田・鬼木
佐藤 秀樹(農)	泉新田	尾崎・岡野新田・今井・今井野新田・泉新田・貝喰新田
栗原 一郎(農)	猪子場新田	猪子場新田・一ツ屋敷新田・福島甲・福島丙
高山 弘則(推)	新堀	福島乙・新堀・東光寺・若宮新田
島影 正幸(農)	北湯	小滝・高安寺・大面・北湯・矢田
小池 秀一(推)	茅原	吉野屋・蔵内・茅原・安代
田邊 敦子(農)	帯織	前谷内・帯織・山王
岡崎 洋一(農)	前谷内	
大口 伸昭(推)	栄荻島	岩淵・戸口・栄荻島

### (下田地区)

担当委員	住所	担当区域
佐藤 一富(農)	榎山	榎山・花淵・上組・中組・下組・中野原・荻堀上・荻堀下
山屋 和徳(農)	長沢	原上・原下・桑切・大沢・長沢・笹巻・福沢
笹岡 大介(推)	駒込	駒込上・駒込中・駒込下・広手・大平
山谷 秀昭(推)	下大浦	高屋敷・滝谷・島湯・福岡・高岡・下大浦・馬場・上大浦
原田 孝一(推)	牛野尾	遅場・葎谷・濁沢・早水・牛野尾・長野
坂井 浩行(農)	名下	名下・栗山・塩野淵・笠堀・大谷地・南五百川・北五百川・院内
佐藤 裕雄(農)	荒沢	棚鱗・荒沢・小長沢・庭月・八木前
吉田 昇(推)	森町	森町・田屋
長谷川 浄二(推)	飯田	上飯田・中飯田・下飯田・鹿峠・小外谷・曲谷
蒲澤 利嗣(推)	江口	江口・島川原・南中
熊倉 睦(農)	新屋	牛ヶ首・落合・上谷地・蝶名林・中浦・新屋・鹿熊

※(農)は農業委員、(推)は農地利用最適化推進委員

# 農業者年金

# 相談

## コーナー



農業者年金は、短期間の加入であつても、納付した保険料とそとの付利額(運用益)については、将来、農業者老齢年金としてお支払いする原資として、農業者年金基金が管理運用を継続します。(死亡した場合を除き、一時金と

農業者老齢年金は、保険料の納付期間が何年でも65歳(60歳から64歳までの繰り下げ請求も可能)から支給を受けられます。厚生年金に加入するまでのステップとして、農業者年金へご加入をお勧めします。農業者年金手続き等については、農業者年金基金のホームページ(<https://www.nounen.go.jp/>)でも紹介しています。

### 農業者年金とイデコの主な違い

	農業者年金	イデコ
運用は?	農業者年金基金が一元運用	加入者が運用商品を選択
年金は?	終身年金	5~20年の有期年金(一部終身もあり)
積立が元本割れした場合は?	65歳裁定時に元本割れしていた場合にマイナスを補う仕組みがある	元本割れの措置なし
事務費負担は?	個人の負担なし(国が負担)	掛金から支出(加入者負担)
節税メリットの社会保険料控除は?	その年に支払った保険料の全額が「社会保険料控除」の対象。生計を偶一者や後継者の保険料を控除できる。	支料小済「除」に「業共」の掛金(本掛金の掛金の掛金の掛金)

**A** 農業者年金・イデコは、いずれも任意加入の制度で、加入はご本人の意思により選択することとなりますが、農業者年金とイデコは同時加入ができません。農業者年金は「終身年金」というメリットがありま

●農業者にはiDeCo(イデコ)よりも農業者年金の方がメリットがあります

**Q** 私は、夫と農業に従事する国民年金第1号被保険者で、農業者年金や個人型の確定拠出年金iDeCo(イデコ)への加入を検討しております。この2つの制度はどのような違いがありますか?

●農業者年金とiDeCo(イデコ)の違いは?

●法人化までの短期間でも農業者年金への加入をお勧めします

**Q** 私は農業経営者で、将来、農業経営を法人化しようと考えています。法人化すると厚生年金の適用となるので、それまでの間、農業者年金に加入しない方が良いのでしょうか。

●将来、法人化する予定でも農業者年金に加入すべきか?

**A** 将来、法人化を視野に入れている個人事業主の方も、加入要件である、①60歳未満、②国民年金第1号被保険者、③年間60日以上農業に従事の3つを満たせば、厚生年金加入までの期間が短期間であつても、国民年金の上乗せ年金として農業者年金を活用できます。

また、農事組合法人に従事される方の場合、収益配分が従事分量配当制なら、国民年金第1号被保険者となりますので、農業者年金に加入できます。

また、厚生年金加入等で脱退した後も、加入中と同様に保険料の運用状況を「運用(付利)結果のお知らせ」として、農業者年金基金からあなたへ郵送することとなりますので、毎年確認することが出来ます。



# 農業への挑戦



## 五十嵐 洋輔 三条

### 酒米作りに取り組んで8年目

今年も、8町5反の田植えを無事に終えて、ひと段落という所です。新潟では栽培が難しいと言われている「山田錦」の栽培を始めて8年になります。要求に応えるべく、当初は勉強会や視察研修にも積極的に参加しながら、自然相手の事なので、同じ事をして結果が一緒にならないわけ、そこが、難しい所でもあります。面白い所でもあります。また、うちの酒米が「糀祭」という純米大吟醸酒になる事も、やる気につながっています。



今は、さらなる品質向上に向け、試行錯誤を重ね奮闘していきたいと思っています。これから一、二年は、栽培方法や、経営規模の振り返り期間にしようと考えており、品種の配分や面積を、今後の判断につなげていこうと考えています。(山倉)

## 越澤 修 栄

### トマト栽培で元気な毎日

フルティカは、フルーツトマトと呼ばれる中玉の品種です。糖度が高くリコピン含有量が多いのが特徴です。

越澤さんは、会社を退職した後、家業だった稲作のほか加工用トマトの栽培を始めたものの、カラスの被害などもあって一旦は撤退。その後、知人の勧めでフルティカのハウス栽培を始めました。当初は失敗も多かったそうですが、自分なりに工夫を重ねて栽培も年々安定し、毎年、7月から8月にかけて地元の農産物直売所に出荷しています。現在の栽培



方法の特徴は、箱栽培にしていることです。ハウス栽培では、時期によって地温の上がり過ぎによる品質低下のおそれがあるので、土を詰めた箱の中で育てる方法に変えました。

何種類かの作物を出荷していますが、奥様と二人で知恵を出し合いながら、それぞれ担当作物を決めて、栽培から出荷まで、各自責任をもって管理しているそうです。規模は小さくても、毎日成長する作物の世話をする喜びが、元気の源ということ。(鳥影)

## 藤田 悟 下田

### ナルコランは陰の立役者

下田地区の大沢集落でナルコランを栽培している藤田悟さんを訪ねました。

ナルコランは下田地区で栽培されており、全体の約7割を藤田さんが栽培しています。筋の目立つ美しい楕円形の葉が特徴的で切り花やフラワーアレンジメントなどの花材として広く利用され、花束などのボリューム感を出したり、他の花を引き立てることから「陰の立役者」と言われているそうです。

藤田さんは、元々会社勤めをしていましたが、5年前に父親が亡

くなり、父親の後を継ぐために勤めをやめて、就農しました。ナルコランの栽培面積は約60アール、葉物として年間約16万本を出荷しています。出荷時期は6月、8月のお盆頃までで、忙しい時は夜10時頃から徹夜で出荷作業を行うこともあるそうです。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止や冠婚葬祭の縮小などで花の需要が低迷し、3割程度減収になったそうです。防除など、品質管理が大変ですが、花束などに使われているのを見ることがうれしいと言っていました。ほかに水稲1.6ha、さといも、さつまいも、ユーカーなども栽培しています。また、今年はやまボクチの栽培にも挑戦、来年は水田約70アールを地元農家から引き受ける予定で、意欲的に農業に取り組む、地元農家からも頼りにされています。

父親の後を継ぎ、試行錯誤を重ねながら一生懸命農業に取り組んでいる藤田さん、地元農業を支える立役者としてこれからも頑張っていたいだきたく思います。(山屋)



## 申請書の締切日は毎月10日です

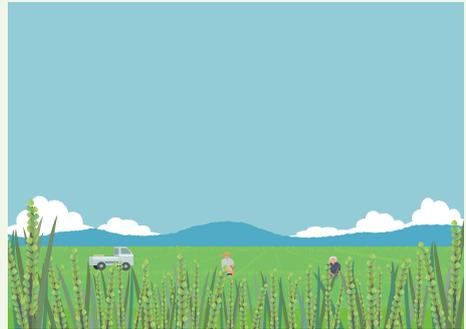
農地の売買や貸借、転用の許可申請などの締め切りは、毎月10日（10日が休日の場合は直前の市役所開庁日）となります。

### 農地の売買、貸借などの締め切り日

9月10日(金) 10月8日(金) 11月10日(水) 12月10日(金)  
1月7日(金) 2月10日(木) 3月10日(木)

### 総会開催日

9月30日(木) 10月29日(金) 11月30日(火) 12月27日(月)  
1月31日(月) 2月28日(月) 3月28日(月)



## 全国農業新聞を購読してみませんか

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である農業委員会系統組織が発行する農業総合専門紙です。「週刊」の時間を生かし、情報がわかりやすいよう解説的にまとめています。また、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の県版・地方版の充実により、地域の元気で特徴ある明るい話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。



発行日 毎週金曜日（月4回）  
購読料 月額700円（送料・税込）  
申込先 農業委員会事務局  
電話：34-5635  
（毎月15日までの申込みで、翌月から送付いたします。）



## 編集後記

このたび三条市農業委員会の改選により、農業委員会だより『向日葵』の編集委員も新たなメンバーで発足いたしました。

新型コロナウイルス感染症のまん延により、東京オリンピックやパラリンピックはおろか、日常生活にも支障をきたす状況となっておりますが、ワクチン接種も進んでおり、年度内には良い方向に向かいそうな一筋の光明が見えてまいりました。

田植えも終わり、一面緑の圃場を見ますと心が洗われる思いがいたします。この素晴らしい環境を次の世代に伝えられるよう、農業者だけでなく、地域の皆様の御理解御協力をいただきながら、三条市の農業発展のため務めてまいります。

（馬場）

委員長 島影 正幸 副委員長 馬場 良子 佐藤 一富  
委員 山倉 広 山屋 和徳 小池 秀一 高山 弘則 松下 正樹 山谷 秀昭